

日本国際歯科大会

OCTOBER 2018 in YOKOHAMA



日本国際歯科大会とは？

4年に一度行われる、日本最大の「歯科のお祭り」です。今年で第8回を迎え、学会の枠を超えた現場の第一線で活躍する国内外の400名を超える演者が、臨床のあらゆるテーマを取り扱うセッション（講演数はなんと500数以上！）を繰り広げました。今年はいっしょ催されたワールドデンタルショー（見本市）と合わせて3日間で5万人超の来場者がありました。

シンポジウム

普段の臨床に密接に関わる予防や歯周病のベーシックなテーマを始めとして、マイクロサージェリー（顕微鏡を覗きながら特殊な器具を用いて行う手術）やデジタルデンティストリー（デジタル機器を使った歯科医療）などの最先端医療や、2020年に行われる「東京オリンピック」に向かったスポーツデンティストに関わるテーマなど、内容は盛り沢山でした。

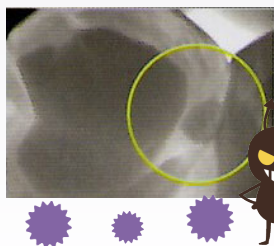


デンタルショー（見本市）

世界中の最新医療機器が展示されており、実際に手に触れる事ができる貴重な機会となりました。



今回注目の新装置



海外では数年前から販売されていた「放射線を使わない虫歯診断のための画像装置」日本でも販売されることになりました。ドイツ KAVO 社製の「ダイアグノカム」。濱谷歯科医院でも近日中に登場予定です。

お知らせ



「よく噛める入れ歯」や
「入れ歯に見えない入れ歯」の



相談会 & メンテナンスフェア開催

2月16日（土）10時～17時に開催します。

アスカラボの村田技工士が来院し、簡単な修理と調整をします。目立ちにくく、つけ心地にこだわったバネの無い入れ歯や、被せ物等のご相談も承ります。ご予約は先着順にてお受けします。

